

通三九四二 於一六八三九三七三( ) I H P C D 放 星 野 ( 吉 田 )



鹿屋航空基地

喜界航空基地

機密第〇六二二二〇番電

宛 六航軍參謀

飛行場修理間ニ合ハズ明朝重燃着陸不能。

機密第〇四四四八

了〇五二二 電〇三五二二

航作 本〇

石垣航空基地

傍

緊急

石垣 航空 基地

- 五基地航空部隊
- 五基地航空部隊臺灣方面飛行機配備基地？

機密第〇六二一四二番電

戰國概報（五月六日）

一〇六五〇一八一〇F六四一三六 T D F I 二 二二機來襲主トシテ

滑走路誘導航機投擲六二

三副滑走路二三〇〇以後使用可能

三機材保有（實動）三（三）一（〇）

通三九二四 呂一Bケ十一（三七八二五）五FGB放 シノ原（様 澤）

菊地航空基地

五 六 受信 〇〇三〇五〇 〇三三〇 〇三四七三 航作 〇  
緊急 菊地航空基地



第五基地航空部隊  
石垣島航空基地

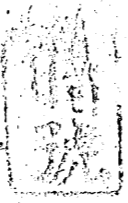
機密第〇六二二〇三番電

發 二〇五空司令  
貴機密第〇六一七三七番電開聯  
連山零戰特別攻擊隊編制左ノ通  
第一區隊爆戰ノ翼下增槽(三直掩二、第二區隊爆戰四直掩一尙第一駐  
退機隊直掩ノ超低空進擊時ノ推進掩護重視特ニ二機ノ附屬教導  
一 東通註 本電開始符加算符取誤リニ付遲延  
通三八七一 呂一B(三七八三五K)五〇〇放 關根(吉田)

5-7

1322

我今ヨリ突撃ニ轉ズ。



通三光三三

(一一三四五元地) 三四五放 阿部(森) 田

第三陸軍師司令部 陸軍部 陸軍省

五七 開始 〇〇 〇〇 〇〇

一〇四四六

Faint, mostly illegible text on the right page, possibly bleed-through or a very light stamp.

5-7

1323

編三九三三 陪 (三七八二五記) 五FGB放 山本(森 田)

我今日リ突撃ニ轉ス。

略語



● 第三基地航空部隊水陸第一香機

開始〇四〇八

紙本

鹿屋航空基地

作

一機動基地航空部隊天戰團概報着信艦所

機密第〇七〇〇一九番電 三分ノ一、二、三

一 K F O B 天戰團概報 (五月六日二二〇〇)

二 五日陸攻五機 (基地攻撃) 重爆二機 天山三機 (泊地攻撃) 以テ

夜間攻撃實施 陸攻一機北飛行場西方燃撃五ヶ所炎上其ノ他戦果未

着重燃撃種不詳一隻轟沈一隻魚雷命中ヲ夫夫並認天山一機輸送船ヲ

雷撃トルモ效果不明

三 六日列島線東南海面索敵ノ爲偵察機二機發進 (内一機故障引返ス更

ニ代機發進トルモ引返一) 機道敵情ヲ得ズ

三 六日丹作戦協同索敵ノ爲偵察機二機ヲ以テ九州南東海面ノ索敵實施

通 三三九六・三三九七 呂一B・七 (三三九七・五K) 一K F O B 版

三三九七 日高・鈴木・加賀 (飯田)

一五〇地點「ケラータ」ニ於テ飛行艇二  
 一三二〇地點「ワイニ  
 シ」ニ於テ浮上潜水艦一（發見後直ニ潛没）  
 一三二〇地點「シフ三  
 ス」ニ於テB-12九一ノ誘導スル小型機編隊（PB-1M1一機ト  
 モ判斷ヒラル）進行方向西ヲ變見ヒル外敵ヲ見ズ。

作戰緊急

機密第〇三三三

〇 ？

第五基地航空部隊

第五基地航空部隊 台灣方面飛行機配備基地  
宮古石垣各航空基地

機密第〇七〇二二七番電

〇一四陸軍飛行場敵潜水艦ヲシキモノヨリ艦砲射撃ヲ受ク  
發射彈數約三〇ニシテ止ム。

5-7

通三九二〇 於十六（三七八三五K）五FGB放 大塚（吉田）

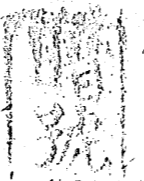
5-7

1327

⑤ (五基地航空部隊艦攻隊(香村))

三三九七二 多八〇 (三七八二五) KC (五 FCB 放 山本 (様 海 )

巡洋艦大傾斜。



再編〇六三〇

⑤ (五基地航空部隊艦攻隊(香村))



宮崎航空基地



作 概  
一機動基地航空部隊 機動報告信艦所  
一機動基地航空部隊 機動報告信艦所  
一機動基地航空部隊 機動報告信艦所

七六二部隊 機動報告信艦所 五月七日

一沖繩北中飛行場沖泊地敵艦船攻撃九八〇重爆三機(内一機歸還)

後夫々連絡ナク未歸還〇五二五指揮官機ノ、宮崎歸着同機〇二三

〇頃一機火ヲ發シ自爆セルヲ認ム

三 戰果不明

三 未歸還二機(自爆セルモノト認ム)

四 本日ノ實動機敵艦三機九八〇ナシ。

一 東通註 本電問合セノ爲遲延

通四一〇二 呂一〇七(七八七五) 一三二〇 廣六(小澤)

④ 沖根 P ?

傍

● 天一號作戦部隊

機密第〇七〇七五八番電

● 沖根 P

説 聯合艦隊参謀

(一) 昨夜敵ハ二〇三三ヨリ二一三〇迄本日〇二一五ヨリ〇四五二迄機火

管州ヲナシタルモ友軍機攻撃ノ模様ナシ二二一八ヨリ二二五三ノ間

ニ於テ夜間哨戒機五機津嘉山附近ヲ銃撃セリ

(二) 朝來戦闘砲聲盛ナルモ二機戦闘機六機上空旋回スルノ

通四〇五三 呂一〇一(七八七五)(一) 放 相澤(三五)

5-1 13281  
⑧沖繩根P

五 七 受備 一〇五五 詳了 一一四五 電 〇三六五九 作戦 〇  
作戦緊急 ⑧ 沖 繩 根 P

停

⑧ 天一號 作戦部隊

機密第 〇七〇八二九番電

付口區ニ在リシ戰艦三隻中アーカンサス型及メリーランド型ノ  
二隻ハ各開逐艦二隻ヲ伴ヒ本朝來逐次出港南下セリハニユ一  
メキシコ型一隻トナレリ視界不良ノ爲對艦船ノ状態後編々  
⑧ 〇八二五時陸上機二隻ハ南方ニ出現飛鳥間ニ向ヒツツマニ二隻  
共甲板に飛行機ナシ

通四〇四二 昌一Bケ七(九八三〇K) 佐二放

原(海軍)

5-7 1330

① 陸軍派遣通信隊

至 急

作

第一機動基地航空部隊各航空基地

大海軍一部・海軍艦隊司令部

機密第〇七〇八四五番電

球情報五日

敵飛行機ハ四機編隊ヲ以テ首里北方ノ機銃陣地ニ對シ各機二箇ノ塔槽ヲ投下附近一面火ノ海ト化ス我方兵員多數ヲ燒死セリ。

道四〇七一 呂一〇ケ一 (佐邊 藤井 (藤田))

5~7 1331  
⑨ 9 5 1 空 P

道四〇九四 天二Bケ十一(九八三〇K) 佐二放 尾島(土谷)

指宿基地施設ハ五日一五四五B一二九 一〇機ノ爆撃ニ依リ損害甚大  
ナルニ付五月八日迄「ト」哨區ノ哨戒ヲ中止ス。

機密第〇七〇九一六番電

吳 領



海上護衛總司令部・佐領・海軍總隊  
機動基地航空部隊

九五一空 P

作戰緊急

5-7

1332

⑤ 第五基地航空部隊

通四〇四七 呂一〇九一 一〇五三六五 〇九二九 三川 藤田

第三次機作戦ヲ更ニ一日延期ス。



作戦緊急



第五基地航空部隊作戦命令着信機所

機密第〇七〇九三八番電



第五基地航空部隊

五七

設始一一五〇〇

了一一五五

電〇三六九四

航作

本機〇



五七 受信一五〇五 譯了一六三〇 〇〇三七六〇九 航作機本〇

● 鹿屋 航空 基地

作

● 一機動基地航空部隊戰術概報着信區所  
關東 航空 隊

機密第〇七一〇一六番電 二分ノ一二

關東航空隊部隊戰術概報第十八編 (五月七日)

一) 沖繩本島飛行場航機警星二機〇二〇〇發進〇三四五攻擊

二) 索敵攻擊警星一機〇三三〇發進九一度一〇〇進

三) 敵機邀撃セリ海口〇五〇〇乃至〇六〇〇都井岬上空ニ於ケル高

廣三〇〇〇

ニ戦果

四) 北飛行場ヲ攻ムモノ警星二機三機發進ニ二十五番三號使

通一五七六 月一〇日(一) (七八三七〇五) (一五〇〇) (一五〇〇) (一五〇〇)

川、(川)

用三一號彈一發夜設點燈中ノ消走路ニ命中  
 (H) 索敵攻撃ヲナセルモノ彗星一機  
 (Y) 敵機邀撃ヲナセルモノ零戦四機  
 三 被害零戦一機笠ノ原ニ不時着陸時脚折損人員異状ナシ  
 四 天候沖繩本島上空機上層機五 高度六〇〇〇 下層機 高度  
 八 高度一〇〇〇乃至一五〇〇

五七 開始一四四五 終了一五三〇 四〇三

作戰緊急

五基地航空部隊



五基地航空部隊作戰命令着信體所

機密第〇七一〇ニ番電

第五基地航空部隊電令作第一七號

第三次機作戦ヲ九日以後ニ延期ス

三 今明日機作戦ヲ取止ム 但シ水爆隊ハ指揮官所定

通四一四二 呂一〇ケ十一(一一三四五五) 等(三) 谷





緊急

天一號作戦部隊

沖繩根

機密第〇七二二一〇番電 二分ノ二

發 聯合艦隊參謀

(一) 沖繩ノ状況〇八〇〇迄ハ上空旋回ノミ〇八三〇ヨリト〇三〇迄ノ

間首里周邊主トシテ西方及南方ヲ銃撃セシメ低飛ナリ

敵ハ海軍以降特ニ我が方ノ補給ヲ絶ツ如ク攻撃ノ重點ヲ首里南方

ニ注キツツアルモノ如シ 第一線ヨリ前進セル陸軍兵ノ散ニ依

ルモ最近飛行機ノ攻撃ハ大ニ緩和サレタルト

四月二十六日以降敵戦團機使用状況ヲ見ル一四四U一ハ最大ニ

シテ一日平均約三〇機主トシテ銃撃ヲ擔任四四ハ平均約一〇

機四六四一ハ約五機ナリ四六一一四四一三ハ主トシテ高々

度上空直衝ニ任シアルモノト認ム。

通 加一九七〇五 品一Bケ七(一二三四七五)五GB放 谷島・大内(佐)

五七 開始一六五八 丁一六四〇 電〇三七八二 航作本

五七 開始一三三〇 一四〇九 電〇三七〇九 航作 本概〇

● 六航軍派遣通信隊

● 海軍總隊中、鹿屋航空基地



機密號〇七一三一四發電

第五航空軍第八飛行師團双ヲ以テスル沖繩攻撃ハ五日ノ夜ヲ以テ一  
先中止爾後暗夜進攻可能ノ小數機ヲ以テ續行ス

通四一三三 於十六(三二〇〇) 佐通 櫻井(雨) 谷